TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

神さまは愛　神の証

ヨハネの手紙第一 5 章 6- 13 節

2026 年 3 月 28 日 & 29 日

余沢　武　牧師

I. 初めに

皆さま、こんにちは。今週末は「棕櫚（しゅろ）の主日」（パーム・サンデー）です。今週の金曜日には、聖金曜日（グッド・フライデー）の祈りと聖餐式が行われます。来週末は、復活祭（イースター）を祝います。皆さまと皆さまのご家族やご友人と一緒にお祝い出来たら嬉しいです。

ヨハネの手紙一で、私たちは次のことを学びました…
①罪を告白し、神に赦しと助けを求めてそれを受け取る中で、私たちは父なる神と御子との「親密な関係」を体験できます。これこそが「永遠の命」です。
②私たちの内に宿る「神の種」が、私たちを罪から遠ざけ、神の御言葉に従いたいという心を育んでくれることによって、私たちは自分が神の子であることを知るのです。
③私たちの信仰が世に打ち勝つとき、また、神への愛と御言葉に従いたいという願いから兄弟姉妹を愛するとき、私たちは死から命へと移ったことを知ることができます。

今日、これらがすべて真実であることがなぜ分かるのかを見ていきます。まずは祈りましょう。

II. 神の証し

(1)証しする三者

ヨハネの手紙一 5:6 を開きましょう。こう書かれています。
「[6] この方は、水と血を通って来られた方、イエス・キリストです。水だけでなく、水と血とによって来られたのです。そして、霊はこのことを証しする方です。霊は真理だからです。」

ヨハネは、イエスが神の御子、神の言葉であり、初めから御父と共にいて、万物がこの方によって造られたこと―つまり神であること―を信じることで、私たちは世に打ち勝って、神の子供たちを愛せると教えてくれました。その後、ヨハネは次のことを知っておく必要があると言いました。

イエスは「水を通って来られた」。イエスは、悔い改めた罪人の代表になるために、宣教活動を洗礼者ヨハネから洗礼を受けることで始めました。

イエスは「血を通って来られた」。イエスは、罪人の代わりに罪の罰を受けて十字架上で血を流され、復活することによって宣教活動を完了させました。
聖霊自身がこれを証ししています。

・イエスが洗礼を受けたとき、聖書ではこう記述されています。「…神の霊が鳩のようにご自分の上に降って来るのを御覧になった。そして、『これは私の愛する子、私の心に適う者』と言う声が、天から聞こえた。」つまり聖霊はその場にいて、そのことを証ししていました。

・イエスが十字架にかけられたとき、聖霊がイエスを復活させました。「キリストは…霊では生かされたのです。」（ペテロの手紙一 3:18）ここでもまた、聖霊が証しをしています。

7－8 節にはこうあります。「
「[7] 証しするのは三者で、[8] 霊と水と血です。この三者の証しは一致しています。」

つまり、「霊と水と血」の三者すべてが、イエスが神の御子であり、人となってこの世に来られ、罪人の代表として罪人のために死んでくださり、罪人を生かすために来られたことを「証し」しているのです。

(2)神の証し

9節:「[9] 私たちが人の証しを受け入れるのであれば、神の証しはなおのことです。神が御子についてなさった証し、これが神の証しだからです。」

「神の証し」とは、イエスがどのようなお方であるかについて、聖霊、バプテスマ、そして十字架の死を通して示された神の証を指します。

人間として、人はいかに簡単に嘘をつくものか、私たちはよく知っています。
だからこそ、旧約聖書の中で神はこう言います。事実は「…二人または三人の証人の証言によって確定されなければならない。」（申命記 19:15 後半）

今日でも、結婚する際に、日本政府はカップルに対し、2 人の証人の署名をもって婚姻届を提出するよう求めています。

しかし、もし証人が嘘をついているとしたらどうでしょうか。証人が 2、3 人いるからといって真実が保証されるわけではありませんが、虚偽の可能性は低くなります。しかし、証言の中には他よりも信頼できるものもあります。

ヨハネは9節でこう言います：「私たちが人の証しを受け入れるのであれば、神の証しはなおのことです。神が御子についてなさった証し、これが神の証しだからです。」

ここでもヨハネは、小を見て大を察する方法で論を展開しており、「もし小さなことが真実だと考えるなら、より大きなことも真実だと信じるべきではないか」と述べています。

例えば、誰かが野球をしていて、頭にボールが当たったとします。幸い、彼はヘルメットを着用していました。彼は皆に「大丈夫だ」と伝えました。これが「小さなこと」です。皆は彼を信じ、安心しました。その後、彼が MRI 検査を受け、医師も「問題ない」と確認しました。それが「より大きなこと」です。

より小さなことが真実だと考えるなら、より大きなことも真実だと信じるでしょう。しかし、もし両者が矛盾する場合、どちらを信じるでしょうか。より大きなことの方、つまり MRI を信じるでしょう。

同様に、教師が神について教えることによって聞いている人々が神を信じるなら、聞いている人は教師が正しいと想定して信頼します。それが「より小さなこと」です。もし神の霊を通して神が人々に直接教えるのなら、人々は事実として受け入れて、神を必ず信頼します。それが「より大きなこと」です。

しかし、もし教師と神の霊の二者が矛盾する場合、どちらを信じるべきでしょうか。「より大きい方」、神の霊です。

ヨハネが生きていた時代では、イエスが永遠の神の御子ではない、またはイエスが私たちの罪の身代わりとなるために人となって来られた神ではない、と教えていた人たちがいました。今日のエホバの証人、モルモン教、統一教会などは、似たようなことを教えています。彼らはいい人たちかもしれませんが、違う考えを持っています。

ヨハネはこう言います。もしイエスに関する彼らの教えが、聖霊の証しと矛盾するのならば、私たちはどちらを信用すればよいのでしょうか。「より大きなこと」、すなわち聖霊の証しを信頼し、信じるべきです。聖霊は、イエスが神の御子であり、人となってこの世に来られ、私たちの代表となり、私たちが命を得られるように、私たちのために死んでくださった神であると証しています。

（3）命は御子の内にある

10 節：「[10] 神の子を信じる人は、自分の内にこの証しを持っています。神を信じない人は、神を偽り者にしています。神が御子についてされた証しを信じないからです。」

「神の子を信じる人」とは、イエスの洗礼、十字架上の死、そして復活に関する神の証しを受け入れる人のことです。そのような人は、「自分の内にこの証しを持っている」のです。

つまり、聖霊の証しは、その人の内側で働くのです。イエスの洗礼は、自分のような罪人を代表するために必要だと理解するでしょう。

イエスの十字架上の死は、自分の罪が赦されるために必要だと理解するでしょうか。

聖霊の力によるイエスの復活は、自分が新しくされ、命へとよみがえらされるために必要だと理解するでしょう。

イエスの洗礼、十字架上の死、そして復活は、信じる人たちの内なる現実となるでしょう。

「神を信じない人は、神を偽り者にしています。神が御子についてされた証しを信じないからです。」

神の御子を信じない人々、ほかの教えに従う人々にとっては、これは内なる現実ではありません。神自身が彼らの代表となり、死んでくださること、新しい命が与えられることの必要性を見いだせません。神の証しを信じないため、そのような人々は、神を「偽り者」にしているのです。

11－13 節：「[11] この証しとは、神が私たちに永遠の命を与えてくださったということです。そして、この命は御子の内にあります。[12] 御子を持つ人は命を持っており、神の子を持たない人は命を持っていません。[13] 神の子の名を信じるあなたがたに、これらのことを書いたのは、あなたがたが永遠の命を持っていることを知ってほしいからです。」

ヨハネは、私たちが神に与えられた何よりも大事なものは「永遠の命」、すなわち神の命だと言っています。**「そして、この命は御子の内にあります。」**

この命は御子の内にあり、次のことに完全に同意することによって経験するものです。

イエスの洗礼：イエスが罪人である自分の代表だと同意する。

イエスの十字架上の死：自分がイエスの犠牲によって赦された罪人だと同意する。

イエスの復活：神に与えられている新しい命が必要だと同意する。

「御子を持つ」とは、イエスとの関係の中にとどまり続けることです。

この関係、姿勢、心の態度にとどまってこそ、イエスに語りかけ、イエスの言葉に耳を傾ける、という今までと全く違う人生を体験できます。それだけでなく、イエスと共に考え、イエスと共に行動し、イエスと共に愛します。それが永遠の命です。

12 節にヨハネはこう言います。「御子を持つ（持ち続ける）人は命を持って（持ち続けて）おり、神の子を持たない（ずっと持つことがない）人は命を持っていません（ずっと持つことがない）。」

私たちが本当に御子の内にある命を経験するかどうかは、私たちが御子を持ち続けるかどうか、御子との親密な関係の中にとどまり続けるかどうかにかかっているのです。

13 節：「神の子の名を信じるあなたがたに、これらのことを書いたのは、あなたがたが永遠の命を持っていることを知ってほしいからです。」

しかし、私たちが「神の子の名を信じ」ていても、「永遠の命を持っていることを知らない」かもしれません。私たちはそれを持っているのにも関わらず、そのことに気づいていないかもしれません。神は、私たちが永遠の命を持っていること、そしてその命を生きることを望んでおられます。

教会には、互いに怒り合っている兄弟姉妹や、助けを必要としている人たちがいます。しかし、ヨハネは単に「こうしなさい」「ああしなさい」と言ってはいません。それだけでは何も解決しないことを知っているからです。御子の内に生きることだけが、問題を本当に解決させることをできます。

イエスに同意し続けて、自分の罪を認め、イエスの赦しと助けを受け入れること。

御子の内に留まり、特に QT（神様と過ごす聖書と祈りの時）を通して、絶えずイエスに語りかけ、イエスの声に耳を傾けることで、私たちはイエスと共に考え、イエスと共に行動し、イエスと共に愛することをします。

自分の力によってではなく、イエスと共に御子の命を生きることで、兄弟姉妹―その人を嫌いでも、その人に傷つけられても、その人が何か必要としていても―愛せます。

永遠の命を得たとき、私たちの行動だけでなく、人生のあり方そのもの、夢や目標のすべてが全く変わるでしょう。なぜなら、私たちはもはや自分の人生ではなく、御子の命を生きているからです。

もしクリスチャンでないなら、イエスを信じ、この永遠の命を受け入れる必要があります。

もしすでにクリスチャンでありながら、御子の命を持っていることに気づいていないなら、ヨハネが言ったように、その命はあなたの内にあることを知ってほしいです。今日からその命を生きましょう。

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 2018

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

スモールグループ参加申込み

http://t-b-c.us/sgsu

オンライン献金

http://t-b-c.us/give

SG レッスンの PDF

https://gotbc.org/s1326jp

TBC カレンダー
（TBC のスケジュールが確認できます）
https://tokyobaptist.org/calendar

★クラス 301
賜物発見クラス
4 月 12(日)1:00pm – 5:00pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: クラス 201 まで修了した TBC メンバーの方

★クラス 210
スモールグループについて知ろう！
4 月 19(日)1:00pm – 5:00pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: どなたでも

★クラス 101
教会員になるためのクラス
5 月 17(日)1:00pm – 5:00pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: どなたでも

全クラス申し込み：https://t-b-c.us/classes

奉仕者募集中！

急募！

1.日本語訳レイアウト&印刷

（女性 2 名募集）

英語のスキルは必要ありません。

・月 1 回、土曜日 16 時に TBC にて作業します。
今見ているこの紙を作成&印刷してもらいます。
ひな形があるので翻訳された原稿をコピーして貼り付け整え、印刷するだけの簡単な作業です。

*スキル：MS Word の操作ができる方。
*TBC の教会員であることが必須です。

2.礼拝メッセージ翻訳

・1 か月半～2か月に 1 度、自宅でできます。スケジュールは都合に合わせて選べます。
英語と日本語が出来る方

連絡先：hiromik@tokyobaptist.org